

平成 29 年度

# 全国学力・学習状況調査の 結果について



平成 29 年 12 月  
海老名市立社家小学校

## 目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5



## 資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。  
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

### 【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

### 【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

### 【基本的な生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

### 【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

### 【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

### 【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家からは、授業参観や運動会などの学校行事に来る

### 【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

### 【基本的な生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

# 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

## ◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## ◆ 調査の対象

- 国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒
- ・ 小学校第6学年
  - ・ 中学校第3学年

## ◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

### 【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)

### 【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

## ◆ 調査実施日

平成29年4月18日(火)

海老名市の結果は  
こちらから



# 国語に関する調査結果

## 国語 A

(主として「知識」に関する問題)

### 《優れている所》

- 互いの話を聞き、話題に沿って話し合う。
- 目的・意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。
- 目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読む。
- 俳句の情景を捉える。

### 《努力を要する所》

- 手紙の構成を理解し、後付けを書く。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く。

## 国語 B

(主として「活用」に関する問題)

### 《優れている所》

- 場面や目的・意図に応じ、適切な言葉遣いで話す。
- 目的・意図に応じ、引用して書く。
- 自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える。

### 《努力を要する所》

- 自分の考えを整理し、文章にまとめる。
- 目的・意図に応じ、必要な内容を整理して書く。
- 物語の叙述を基に、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉える。

## これまでの取組から

- 読む力を高めるために、読書活動を充実させます。
- 他教科においても、目的・意図に応じて、自分の考えを伝えたり、話を聞いたりする活動を多く取り入れ、その力を向上させます。
- 意見や感想を書く機会を多く設定し、書くことに対する苦手意識をなくします。

## 今後の具体的な取組について

- 手紙を書く学習活動を、各教科等で意図的・計画的に設定し、日常生活で役立つように指導します。
- 慣用句やことわざに慣れ親しむ学習を多く取り入れ、日常的に活用できるように指導します。

# 算数に関する調査結果

## 算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 小数と整数の加法の計算をすることができる。
- 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる。
- 二つの数の最小公倍数を求めることができる。
- 正多角形の性質を理解している。
- 未知の数量を表す口を用いて、問題場面を式に表すことができる。

《努力を要する所》

- 3桁の乗法の計算をする。
- 商を分数で表す。
- 高さが等しい平行四辺形と三角形について底辺と面積の関係を理解する。

## 算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 示された条件を基に、適切な式を立てることができる。
- 数量の関係が成り立つ理由を図と結びつけて考えることができる。
- 示された方法を解釈し、その方法を問題場面に適用することができる。

《努力を要する所》

- 数量の関係を言葉や式を用いて一般化して表現する。
- 仮の平均の考え方を活用して、測定値の平均を求める。
- 示された割合を基に、基準量と比較量の関係を捉える。

### これまでの取組から

- 計算力に課題が見られるので、計算タイムをさらに充実させます。
- 既習の学習内容を使って、自力解決を図ることができる指導を引き続き行います。
- 問題場面の数量関係を図や数直線などに表す指導を行い、問題を的確に捉え、解決する力を向上させます。

### 今後の具体的な取組について

- 記述式問題や長文問題に取り組み、苦手意識をなくすようにします。
- 日常生活の問題解決のために、算数が役立っていることを実感できるような指導を行います。

# 児童質問紙の結果より

## 学習について

### 《よかった所》

- 学校で好きな授業がある児童が多い。
  - ・ 90%を超える児童が「好きな授業がある」と回答している。
  - ・ 約 90%の児童が「国語や算数の勉強が大切」であり、「学習したことは将来役に立つと思う」と回答している。
- 家庭での学習の習慣が身についている。
  - ・ 95%を超える児童が「宿題をしている」と回答している。与えられた課題に対する取り組みが良い。
  - ・ 50%以上の児童が「学校の授業以外に平日 30 分以上読書している」と回答し、本に親しむ児童が多い。

### 《課題と思われる所》

- 表現活動が苦手な児童が多い。
  - ・ 「授業中(国語科含む)自分の考えを説明したり、文章に書いたりすることを難しい」と回答した児童が半数近くいる。
- 算数の学習を不得手としている児童がいる。
  - ・ 「算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたい」と回答した児童の割合が 60%程で県や全国平均を下回っている。

## 生活について

### 《よかった所》

- 基本的な生活習慣が、身につけている児童が多い。
  - ・ 95%を超える児童が、ほぼ毎日朝食を食べ、起床時刻も、85%以上の児童がほぼ決まっていると回答している。
- 将来、外国とのつながりを持ちたいと考える児童が多い。
  - ・ 「外国の人と友だちになりたい」と回答した児童が 70%を越えている。また、半数近くの児童が、「将来外国へ留学や、国際的な仕事をしたい」と回答し、全国平均を大きく(10%以上)上回っている。

### 《課題と思われる所》

- 地域社会への関わり方が少ない。
  - ・ 「住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童が半数以下である。
  - ・ 「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」と回答した児童の割合が県や全国平均を下回っている。
- TV・ゲームや携帯・スマホの使い方やルールについて改善の必要がある。
  - ・ 「約束を守っている」と回答した児童は半数以下で、「時間等の約束事が無い、あるいは、守っていない」と回答した児童がかなり多い。

## これまでの取組から

- ALT と協同した外国語活動を充実や、インターナショナルスクールとの交流などを通し、児童は、外国に対する関心を高く持っています。今後、教科化される「英語」について、さらに意欲的に学習に取り組めるような授業をめざします。
- 全学年で、家庭学習への取り組みを充実させています。宿題等与えられた取り組みは大変良いので、自主的な学習に繋げていくようにします。本に親しむ児童は多く、日常の中で読書が習慣化しています。図書館支援員や図書ボランティアと協力しながら、今後も読書活動の充実を図っていきます。

## 今後の具体的な取組について

- 「分かる・できる・楽しい授業」をめざします。児童が「学習内容を理解できた」と思えるよう授業の工夫に努めます。計算タイムを継続し基礎学力の定着を図ります。話し合いの方法や文章の書き方などポイントを押さえた指導をすることにより、表現活動の充実をめざします。
- 家庭と連携を図りながら、子どもたちに「生きる力」を身につけさせます。学校での教育活動において、児童の良さを認め励まし、意欲を引き出すような指導をめざします。



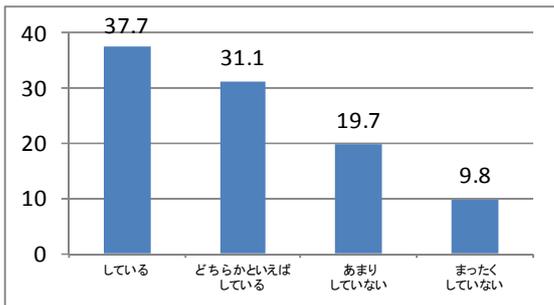
# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

## 1 規則正しい生活習慣を心がけましょう。

「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣を身につけることは、学習・体力・気力の向上につながります。

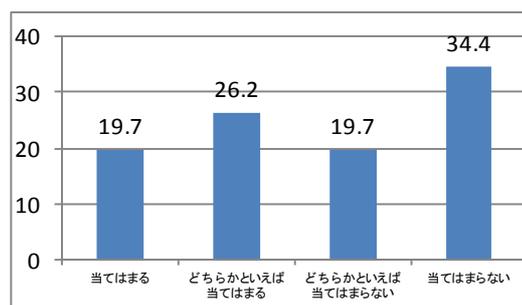
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



## 2 地域の行事に参加しましょう。

家族で、地域の行事に積極的に参加し交流の輪を広げましょう。

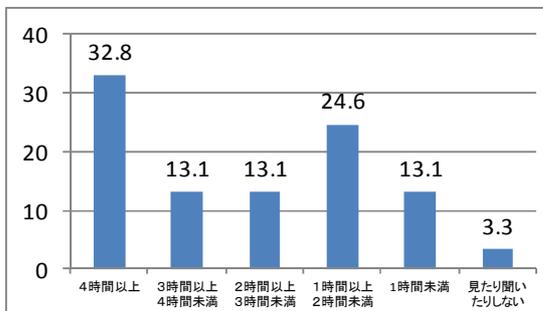
今住んでいる地域の行事に参加していますか。



## 3 時間の使い方を見直し、ルールを決めましょう。

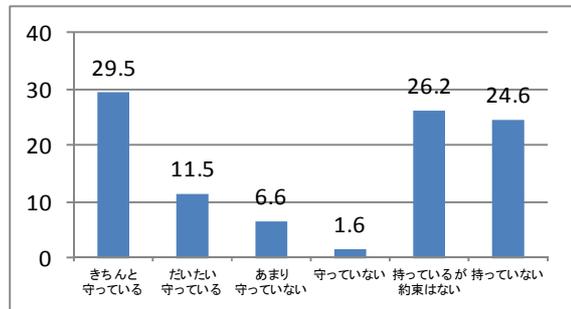
TVやゲームに費やす時間、携帯電話やスマートフォン等の使い方を見直し、家庭でルールを決めましょう。

普段一日にどれくらいの時間テレビ等を見ますか。



携帯電話等の使い方について

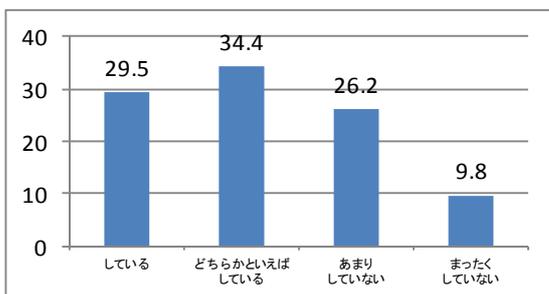
家の人と約束したことを守っていますか。



## 4 計画的に学習に取り組みましょう。

宿題の取り組みは、良好です。予習や復習など自分で計画を立てて学習に取り組めるよう励ましてください。

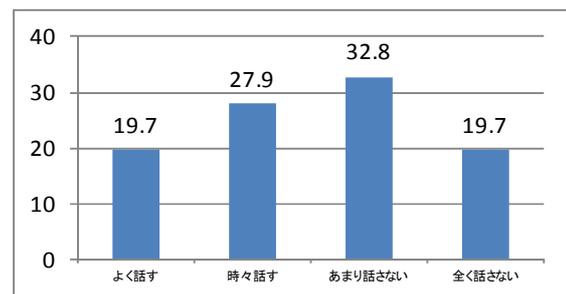
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。



## 5 お子様と夢や目標について話し合みましょう。

9割程のお子様か「将来の夢や目標を持っている」と回答しています。一緒に話をする機会を作りましょう。

家の人と将来のことについて話すことがありますか。



祝 40 周年



社家小

2017